

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」新鈴鹿校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		3	1	法令を厳守したスペースは確保しているが、その中で出来る限りのスペースを確保できるよう工夫している
	②	職員の配置数は適切であるか	4			児童指導員3名常勤している
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	2	1	受け入れ対象外の為、現時点ではバリアフリー構造にはなっていないが、本来はユニバーサルデザインであるべきだと思う。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	1		担当の利用者の方だけでなく、全職員で話し合う場を設けている
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			アンケートを実施し、事業所内に掲示している
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			4	今後第三者による外部評価を行っていきたい
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			初任者研修以外に市や近隣で行われる研修に参加している
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			統一したアセスメントシートで定期的にあセスメントを行っている
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4			項目⑨のアセスメントシートにて行っている
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	2		利用者の方の情報共有や話し合い等は随時行っているが、個別支援を主としている為、担当者が立案している
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			日々のアセスメントやその日の利用者の方の状況に応じて活動内容を設定している
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	2		個々の課題や活動に応じ、臨機応変に対応している
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			個々のアセスメントやイベントで少人数の活動内容を設定している
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			朝の会で当日の利用者さんの確認や、活動、報告をし、情報共有しながら打ち合わせをしている

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4			同上
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			毎日指導記録を取り見直しをすることで、よりよい支援を実施している
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			保護者の方とモニタリング、職員間でのケース会議を実施している
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	4			アセスメントをもとに優先順位をつけて長期目標と短期目標を設定した個別支援計画を策定している
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			おもに児童発達管理責任者が出席している
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4			個々の必要に応じて、学校との連携をはかり、利用者さんについて情報共有している
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			4	保護者の方のご要望に準じ、就学前の引継ぎ会議に等に参加し、学校と連携と情報共有をしている
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			4	現在の所は対象児はいないが、今後移行となる場合は支援内容等の情報を提供していく
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4			研修の機会があれば必ず参加している
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			4	当事業所以外で、普段から小学校や中学校で交流する機会がある
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	4			おもに、児童発達管理責任者が出席し、研修へは全職員が参加している
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			自発管は保護者さんの話を随時間ける状態であり、担当職員は毎回保護者さんへねらいや支援内容や様子を丁寧に伝え、共通理解をはかっている
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			4	保護者の方とお子さんについて話すことは常に心がけており、困りごとには等には適切な助言が出来るようにしているが、ペアレントトレーニングの情報提供としては不十分と感じている
保護者へ	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			契約時に説明させていただいている

の 説 明 責 任 等	③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			支援計画の見直し時期や、保護者さんが話したい時など、随時児発管が対応できるようにしている
	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		4		月に一度、土曜日に開催しているイベント時に保護者さん同士の関わりがもてる内容を計画したいと考えている
非 常 時 等 の 対 応	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			苦情対策マニュアルに基づいて適切に対応している
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	1		ブログやInstagramで活動内容やお知らせ等を発信している
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	4			鍵付きのロッカーに保存している
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			4	スペースや職員の数の関係で招待することは難しいが、機会がある、もしくは、地域のイベント等あれば参加していきたい
	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4			各種マニュアルを策定し、感染症予防や緊急時の避難場所などを室内に掲示している
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			毎月1回の避難訓練を実施している(地震・火事・水害・不審者対応等)。なるべく多くの利用者さんと避難訓練を出来るよう心掛けている
④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			機会があれば全職員が研修に参加できるようにしたい。また、研修を受けた職員が事業所に持ち帰り、全職員に伝えるようにしている	
④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			4	必要に応じて身体拘束について保護者の方に説明し、個別支援計画にも記載していく	
④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			4	食事提供を行っていません	
④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			ヒヤリハットの事例が起こった場合は報告書を作成し保管している。起こった事例に関し職員全員で話し合い、今後の対策をすぐに講じるようにしている	

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」新鈴鹿校

保護者等数（児童数）：9 回収数：6 割合：66.7%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16.7%	83.3%		のびのび動くとなると狭い気がするというご意見に対しましては、限られたスペースを有効活用し、出来る限り広く使えるよう工夫します
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	100%			
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	50%	50%		重症心身障がいの方を対象としていない為、現時点では必要がないと考えています
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	100%			
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	83.3%	16.7%		個々の状況に応じ、適切な支援内容を考えています
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	33.3%	33.3%	33.3%	個別支援を行っている為、そのような機会はございません。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%			
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%			
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	33.3%	50%	16.7%	

	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%			
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	83.3%	16.7%		活動や行事予定につきましては、ブログやInstagramにて情報を発信しています。自己評価表はホームページにて公表しております
	⑭	個人情報に十分注意しているか	100%			
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	100%			
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	50%	50%		月に1度、様々な災害に対して避難訓練を行っています
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	100%			
	⑱	事業所の支援に満足しているか	100%			